

令和5年度 府中市立府中第三小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 豊かな語彙を用いて、話や文章の中で自由に使いこなすことのできる児童が少ない。 - 読書が好きな児童は多いが、意欲的に取り組む児童とそうでない児童の差が大きい。 - 記述式の問題に解答できない児童が多い。	- 書く時に使える語句や表現を示し、自分の考えを豊かに表現できるようにする。また、詩や俳句指導を継続して行い、語彙を豊かにする。 - 伝記や意見文、解説文や新聞など、様々なジャンルの本を読む場を授業の中で設定すると共に、週に1回の図書の時間を確保する。 - 授業の中で考えや感想を交流させ、文章に表現させる。		
算数	- 既習内容の知識や技能が定着していないため、新規の学習の理解が十分でない児童がいる。 - 文章題を理解して立式することが難しい児童がいる。 - 問題の解き方などを相手に分かりやすく説明したり、論理的に話したりする力が不十分である。	- 前学年までの復習を適宜行い、定着を図るとともに、新規の学習の理解度を高める。 - 文章から読み取れることを、図や表などに表し、数量の関係を整理して考えさせる。 - 相手を意識した説明をしたり、図や表などを用いて説明したりできるように指導する。		
理科	- 実験や観察には意欲的に取り組むが、既習事項や事実から予想し、考えることが苦手の児童が多い。 - 考察に実験の結果のみを書き、結果から問題に対する考察を導き出すことが難しい。	- 予想を立てる際に、何を根拠に予想したのかを記述させるようにする。その中で、既習事項や事実から予想している児童を称賛し、周囲の児童にも広めていく。 - 事実と結果から分かったことを書かせてから、問題を意識した話し合いを行わせ、より妥当な考えを導き出せるようにする。		
社会	- 歴史に出てくる用語が難しく理解するには知識が十分に身に付いていない。 - 資料から読み取ったことと歴史的な事象を結び付かせての理解が難しい。 - グラフなどの数値の読み取りや文章も含めた複合的な資料の読み取りについて不十分さがある。	- 歴史や政治の知識の定着のために、資料集、写真、ICTなどを活用し、興味・関心を引き出す。 - 総合的な学習と関連させたり、地域の歴史的史跡を活用したりして、知識を深められるようにする。 - グラフや図、表、地図などの資料の読み取り方の指導を継続する。また、算数科の授業とも関連付けて知識の習熟を図る。		
音楽	○表現の技能 - 歌唱では、響く声で歌おうとする意欲はあるが、声量が十分ではない。 - 器楽のリコーダーでは運指は定着しているがタンギングが不十分な児童がいる。また、技能の個人差が開きつつある。	- 発声について意識できるように、歌う時の口の形や開け方を確認しながら歌うとともに、息の使い方や支え方を具体的に指導する。教材も、声を出しやすい曲を選ぶ。 - タンギングと運指が連動するように易しい曲で練習したり、ゆっくりとしたテンポの練習を重ねたりしていく。また、楽曲ごとに個別指導を取り入れて丁寧に指導する。		
図画工作	○発想や構想の能力 - よりよい表現を目指しテーマに対する思考を深め、材料を使いこなす力を一層伸ばす。 - どのように主題を表すかについて考える力を一層伸ばす。	- 様々な視点から物事を観察したり、友達と対話をしたりすることで、楽しみながら発想する時間を授業に取り入れる。 - 導入時に制作の主題についてイメージを膨らませる時間を確保するとともに、ワークシート等で表現方法や活動の計画を立てることができるようにする。		
家庭	○生活の技能 児童の生活体験の差があり、調理領域、被服領域の技能習得で個人差が大きい。	- 学校の体験的な学習を増やす。家庭での実践の宿題を出し、生活技能の習得につなげる。 - 家庭での実践を学校で発表会をして興味の幅を広げさせる。		
体育	- 進んで体を動かすことを好まない児童が増えてきている。 - 自分たちの実態に合わせた活動やルール工夫をすることが難しい。	- やればできると思える運動や、効果が目に見える運動を取り入れ、出来る喜びや運動の楽しさや体を動かす心地よさを十分に味わわせられるようにする。 - 学習カードを活用し、活動のコツやルールの工夫の仕方を紹介し、話し合いながら取り組ませる。		
外国語	定型文としてセリフのように発話することはできるが、スラスラと会話の流れを意識して英語を使うことはできていない。	Main Sentence の英語をセリフのように覚えるだけでなく、会話のキャッチボールができるように相づちや response のフレーズを練習し、会話の中で使えるようにする。		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。